

インドの古典舞踊を体験

世界を知ろう・体験しよう「インド編」

三好町国際交流協会(MIA)では、世界の国や地域を知ってもらおうとMIA国際協力講座を開催しています。2月7日には、「インド編」がサンアートで開かれました。講座には23人が参加。インド古典舞踊家・小久保シユヴァさんを講師に迎え、講話を聞いたあと、古典舞踊を実際に体験しました。参加した女性の一人は「人前で踊るのは恥ずかしかったです。貴重な体験ができました」と満足そうな笑顔を浮かべていました。



いろんな鬼を追い出そう

打越保育園の豆まき

日本の伝統行事に親しんでもらおうと2月3日、打越保育園で豆まきが行われました。初めに伊藤敬子園長が「たくさん豆をぶつけて、みんなのなかにいる『いやいや鬼』や『泣き虫鬼』さんたちを追い出しましょう」とあいさつ。続いて豆まきが始めると、手作りのお面をかぶった子どもたちは「鬼は外、福は内」と勢いよく走り回っていました。園児の一人は「たくさん豆をぶつけたよ。鬼さんは出てったかな」と元気がいっぱいでした。



舞台と観客が一つになって

合唱交流会

合唱を通して交流を深めようと2月7日、サンアートで合唱交流会が開催されました。町内4つの合唱団に加え、ちりゅうパティオ少年少女合唱団が特別参加し、それぞれ歌声を披露。知立市と三好町の少年少女合唱団による合同合唱や、観客も一緒に熱唱した全体合唱なども行われ、会場は大歓声に包まれました。ご自身も合唱に励んでいる女性は「歌を通して舞台と観客が一つになり、本当に感動しました」と瞳を潤かせていました。



子育てを楽しもう

子育て交流会「親子で遊ぼう」

三好町では子育てを楽しんでもらおうと「子育て交流会」を開催しています。2月2日には、今年初めてとなる交流会「親子で遊ぼう」が明知保育園で行われました。会には20組43人の親子が参加。子育て支援グループ「子育てネットみよし」の皆さんと一緒に、大型絵本やリズム遊びなどを楽しみました。参加したお母さんは「自分と同じ小さい子のいる人の集まりなので、共通の話題が多く、安心できます」と交流を楽しんでいました。



時代を彩るひな人形たち

第22回ひな人形展

現在、歴史民俗資料館では新春恒例のひな人形展が開催されています。今年は明治から昭和時代までの人形の移り変わりを展示紹介するほか、知多市歴史民俗資料館所蔵の内裏ひな人形などを初展示。会場を訪れた人は「時代や地域によって、人形の大きさや表情、身にまとう衣装まで違うものなんです」と感心した様子で話していました。展示会は3月21日まで開催していますので、皆さん一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



お茶に親しむ

町民茶会

三好町文化協会では、多くの皆さんに気軽にお茶を楽しんでもらおうと年に3回、町民茶会を開催しています。2月8日には、今年初めてとなる茶会がふるさと会館で行われ、220人がお茶を楽しみました。訪れた人たちは、梅の花をあしらったお菓子とお茶をいただき、茶会を満喫。女性の一人は「こういった日本の伝統文化は大切にしていきたいですね」と目を細めていました。なお次回は、5月に開催される予定です。

